

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	つばさ学園改修事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	02	07	02
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	児童発達支援センター				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	長谷川 聖二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	概ね2歳から18歳未満で、成長や発達に心配がある児童及びその保護者。（通園	意図	幼児ことばの相談室の移転に伴う支援室の確保及び分散されている施設の集約化を図り、施設の機能の充実を図る。
事業内容	平成27年度から児童発達支援センターとして組織改編をしたことに伴い、分散されている施設の集約化を図るため、増改築工事を行う。平成27年度から施設設計を行い、平成28年度で工期を3期に分けて、施設を休園せずに工事を行い、平成29年3月に完成しました。			
事業開始から現在までの状況変化	27年度プロポーザル方式により設計業者を選定した。基本設計完成後保護者、地域住民に対して説明会を開催した。平成28年4月に入札行い、工事を3期に分けて事業を始める。新築棟（検査、相談室、訓練室等）は10月に完成、ウッドデッキによる施設の機能化を図るとともに、改修工事である園児用トイレ、事務所、幼児ことばの支援室も終わり3月に検収後引き渡しを終える。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	事業進捗率			100		%
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 工期を3期に分けることにより、施設を休園をせず工事を行うことができた。また、ウッドデッキによる施設の機能化を図る目的も達成された。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				92,846,304				
事業費(b)(円)				82,548,804				
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)				10,297,500				
人役・職員(人)				1.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	工事期間中事故等のないよう、安全配慮等に万全を期す。工事区域をフェンスで囲い園児や利用者が侵入しない措置をするとともに、警備員を配置し搬入車両等の安全運行に留意する。	③取組の課題	工事期間中事故等のないよう、安全配慮等に万全を期す。
②今年度(H28)に実施した取組	工事期を3期に分け、工事区域をフェンスで囲い園児や利用者が侵入しない措置をした。警備員を配置し搬入車両等の安全運行に留意した。	④今後の改善計画	つばさ学園4教室に床暖房がない状況である。医療的ケア児や体温調節が上手に出来ない園児への対応が必要である。